



「母子の健康」グローバル補助金 授与のガイドライン

本資料は、「母子の健康」分野の活動を支援するために、ロータリー財団のグローバル補助金を申請する会員のための包括的ガイドラインです。ご覧になりたいセクションを以下のリンクから直接開くことができますが、補助金申請の前に本ガイドライン全文を読み、理解を深めることをお勧めします。

[「母子の健康」分野におけるロータリー財団の目標](#)

[「母子の健康」分野における地域社会調査の実施方法](#)

[「母子の健康」分野のプロジェクトを持続可能にする方法](#)

[グローバル補助金の受領資格がある活動とプロジェクトのタイプ](#)

- [予防接種プロジェクト](#)
- [移動医療車と移動診療所](#)
- [緊急サービスサポート](#)
- [医療設備プロジェクト](#)
- [栄養プロジェクト](#)
- [医療機器と救命手術](#)
- [健康フェアと一般健康診断](#)

[グローバル補助金の受領資格がない活動とプロジェクトのタイプ](#)

[「母子の健康」分野のプロジェクトをモニタリング・評価する方法](#)

[「母子の健康」分野の奨学生を支援する方法](#)

[リソース](#)

「母子の健康」分野におけるロータリー財団の目標

ロータリーは、母子の健康を改善し、5歳未満の幼児の死亡率を減らすための活動と研修を支援します。ロータリーのプロジェクトは、ケアへのアクセス改善、医療サービスの拡大、医療設備の提供、医療提供者の研修を行います。

ロータリーは、以下のような活動によって母子の健康を改善するのを支援します。

- 新生児や赤ちゃんの死亡率の削減
- 5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減。
- 妊婦の死亡率と罹患率の削減。
- 基本的な医療サービス、研修を受けた地域社会の医療従事者、および医療提供者へのアクセスの改善。
- 母子の健康に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための大学院レベルの奨学金支援。

「母子の健康」分野における地域社会調査の実施方法

地域社会調査では、ロータリーの支援が最も必要とされている地域と、そのためにロータリーの会員が果たすことのできる役割を明らかにします。調査は、地域社会の強みと弱みを明らかにし、地域住民と協力して解決策を講じるのに役立ちます。プロジェクト提唱者(多くの場合、協力団体と共同で)は、補助金を申請する前に地域社会調査を実施する必要があります。すでに調査が完了している場合は、関連するデータを使ってプロジェクトを立案してください。地域社会調査が行われていないプロジェクトは、財団による補助金授与の対象とはなりません。

以下を行うために、地域社会調査を実施します：

- 女性、若者、専門家など、地域社会の幅広い層から意見を集める。
- 最も重要だと考えるニーズを地域社会の人びとに特定してもらう。
- 提案されたプロジェクトにどのようにかかわれるかを、地域社会の参加者に尋ねる。
- プロジェクトの長期的な目標や期待される成果を、地域社会の人びとと協力して特定する。
- 基準となるデータを事前に収集し、成果を測定できるようにする。

地域社会調査の結果をプロジェクト計画に組み込む必要があります。結果は以下の記載を含むものとするべきです：

- プロジェクトは、地域社会が特定したニーズをどのように満たすか。
- 長期的な目標またはプロジェクトの成果は何か、またそれをどのように達成するか(研修や啓発キャンペーンなど)。

- プロジェクトの活動を実施するために、地域社会のリソースをどのように活用するか。
- 補助金プロジェクトが完了した後、どのように地域社会がプロジェクトを維持していくか。

母子の健康における地域社会調査では、以下を行うことが重要です：

- 国の医療関係者、医療施設の管理者、医師、看護師、コミュニティ・ヘルスワーカー、助産師、地域社会の人びと、および地元当局の担当者を話し合いに招く。公共、民間、非政府など多部門の利害関係者を含める。
- 教育的、社会経済的、保健的に多様な背景を持つさまざまな年代の女性を招く。母子の健康プロジェクトの受益者には以下が含まれる可能性がある：
 - 出産可能な年齢の女性
 - 思春期の少年と少女
 - 妊娠中、出産中、または出産後の女性と少女
 - 新生児と乳幼児を含む5歳未満の子ども
 - 伝染病と非伝染病のリスクがある女性と子ども
- 初期診療（プライマリ・ケア）のための診療所、コミュニティ保健センター、地区や地域の保健所と病院、移動診療システム、専門的ケアを提供する三次病院を含む、母子の医療インフラについて調査する。
- 最前線のコミュニティヘルスケアワーカー、助産師、および医療技師と、掘り下げた話し合いを行う。
- 政府の保健当局および協力団体からの文書を確認し、すべてのプロジェクト活動がその国の医療システムで一般に認められた方針や臨床基準に沿うようにする。
- 地域社会の人びとが自分たちの母子医療のニーズと目標を特定し、それについて話すことができるようにする。
- 母子医療における現状、および地元保健当局と地域社会の人びとの目標を理解し、それらの目標の達成をロータリー会員がいかに援助できるかを説明する。
- 近隣地域の当局や団体が同じような母子医療のニーズに既に取り組んでいるかどうかを確認する。それらの当局や団体は、提案されている技術を使用しているか、類似した介入を拡大しているか、または、新しいアプローチを導入しているか。プロジェクトの提唱者は、それらの当局や団体の知識と経験を活用できるか。
- 地域の母子医療能力を向上させる方法、専門家と一般市民の両方のスキルと知識を高める方法、母子の保健面での成果を改善する新しいプログラムを立ち上げる方法を模索する。
- 計画立案において国の保健当局担当者にかかわってもらい、可能な限り現地の母子の健康のガイドラインを使用する。

「母子の健康」分野のプロジェクトを持続可能にする方法

ロータリーでは、持続可能性を「補助金資金がすべて使用された後にも、地域社会の人びとが自力で地域のニーズを満たしていけるよう、長期的な解決策を提供すること」と定義しています。これらの解決策は地域社会にとって適切で、文化的・環境的要素に配慮したものとする必要があります。プロジェクトの長期的な持続可能性を高

めるために、以下の項目に注意してください。持続可能性のための明確な計画がないプロジェクトは、財団による補助金授与の対象とはなりません。

資材と技術

技術や設備を選ぶ際には、地域社会の人びとにも参加してもらい、自力で操作、維持、修理できるように研修を行います。現地のエリートだけでなく、実際にそれを使う人びとや受益者といったすべての利害関係者に、実施場所の選定、研修、メンテナンスなど、プロジェクト実施のあらゆる側面に関与してもらいます。可能であれば、現地で機器や新しい技術を購入し、交換部品がすぐに入手できることを確認してください。

補助金の申請書は以下の点を満たしているべきです。

- 購入または寄付された設備、およびそれを運用・維持するための人材研修の計画について説明する。
- 現地で購入されない設備がある場合はその理由を説明し、交換部品の入手方法など、地域社会での研修、運用、メンテナンスの計画を提示する。
- 設備や機器を保管する物理的な環境について説明し、誰がそれを所有するのかを明らかにし、セキュリティプロトコルを提示する。
- 使用する機器や技術がプロジェクトの目的にどのように不可欠であるか、または関連しているかを説明する。
- 購入する必要があるソフトウェアをアップデートするための長期的な財務計画を含める。
- 母子の健康の成果を直接改善するために、その技術や設備がどのように使用されるかを説明する。設備の使用とメンテナンスに関する研修のみである場合、グローバル補助金の受領資格としては不十分となる。

財務計画

プロジェクトを地域社会に統合し、長期的な成功を支えるために、地元団体、住民、または政府からの十分な資金をプロジェクトのために確保します。長期的な運用費、メンテナンス、研修、設備交換、または技術のアップデートの費用を支払うための地元の資金源があることを確認します。サービスが継続されるよう、プロジェクト参加者の労働に対して適切な報酬を提供します。

補助金の申請書は以下の点を満たしているべきです。

- 地域社会、政府機関、非政府組織、民間団体が、将来の資金確保のために計画している資金調達活動を説明する（ロータリー財団とクラブが無期限の支援を提供することはできない）。
- 関連する省庁または当局からのプロジェクトに対するサポート（該当する場合）を文書化する。これには、現時点での費用や定期的に発生する費用のための資金、アドボカシー、方針実施、研修、教育、人員配置、資料が含まれる。
- プロジェクトを支援し（または支援する可能性があり）、グローバル補助金完了後に支援を継続する他財

団や民間のパートナー団体をリストアップする。

- プロジェクトに持続的な収益をもたらす可能性のあるサービス手数料、保険、回転資金があれば、それについて説明する。
- グローバル補助金が完了した後に地域社会が資金を補填していくための2～4年間の計画について説明する。
- 必要に応じて、地域社会が追加資金を調達する方法を詳細に説明する。母子の健康における多くのグローバル補助金で、ロータリー会員は厳しい予算で公共施設や民間施設と協力している。プロジェクトは、病院または医療施設の担当者が開始時に同意しない限り、これらの施設の予算に追加の要求をするべきではない。

研修と教育

現地の母子の保健の状況に持続可能な変化をもたらすため、研修では、現地のリソース、人材、スキル、専門知識を最大限に活用するべきであり、単独のコースや1回限りの介入とすべきではありません。これは、プロジェクトの受益者だけでなく、サービス提供者や技術者に対しても研修と教育、地域社会への働きかけを行う機会となります。

研修は、地域社会調査によって特定されたトピックについて、現地の言語で実施するべきです。研修が母子の保健面での成果にいかに関与するかを明確に理解することが重要です。専門知識を提供するために、必要に応じて、地方自治体、民間団体、公的機関、その他の団体と協力します。

補助金の申請書は以下の点を満たしているべきです。

- 該当する場合、サービス提供者および技術プロジェクト従事者向けの研修計画について説明する。研修の費用をプロジェクト予算に含めるか、外部からの資金援助に頼るのかを示す。
- 該当する場合、プロジェクトの受益者に対する研修の計画について説明する。研修に必要な、または研修用に入手した資料とその他のリソース、および研修目標をリストアップする。誰が研修を行うか、プロジェクトの受益者は誰かを説明する。
- 該当する場合、プロジェクトの目標と戦略について現地の人びとを教育するために用いる公衆衛生キャンペーンについて説明する。具体的なスケジュールと対象者を決め、教育用資料の概要を提示する。これらの活動に資金が配分されていることを確認する。

グローバル補助金の受領資格がある活動とプロジェクトのタイプ

ロータリー財団は、以下の活動を、「母子の健康」の範囲内にある活動とみなします。

- 新生児、5歳未満の子ども、母親、および出産年齢の女性の罹患率と死亡率を削減する。
- より質の高い医療へのアクセスを改善する。

特定のプロジェクトで以下を提供する場合もあります：

- 産前産後、および出産時におけるケア
- 医師、看護師、助産師、および伝統的な熟練した助産師を含む、専門的および地域社会レベルの母子医療の従事者への研修または「研修者への研修」
- 健康的な妊娠および出産と新生児医療に関連する女性のための啓蒙活動がプロジェクトに含まれる場合、医療施設への医療機器
- 医療システムを通じて得られる家族計画サービスとその他の性と生殖に関する健康における介入や公共サービスに関する教育、およびアクセス改善
- ワクチンで予防可能な疾病をなくすための、女性、思春期の女子、5歳未満の子どものため予防接種
- 女性と5歳未満の子どもの対象に、肺炎、下痢、マラリア、はしか、その他の主な病気の原因を予防、治療するための介入
- 出産年齢にある思春期の人および女性を対象に、性行為による病気の感染を削減し、その影響を緩和するための介入
- HIV、梅毒、シャーガス病、周産期B型肝炎の母子感染を予防、根絶するための介入
- 母乳を奨励し、栄養失調を予防、緩和、また治療するための行動を奨励するための戦略または研修
- 救命手術および先天的疾患の手術の提供（ただし、受益者の査定と術後ケアを含むことが条件となる）

グローバル補助金は、一般的に以下のタイプの母子の健康プロジェクトに授与され、それぞれのタイプごとに成果を定量化する必要があります。受領資格および申請書とともに提出が必要な情報について詳しくご確認ください。

ロータリー財団は、各プロジェクトの評価を個別に行います。以下に記載されていないタイプのプロジェクトであっても、上記の成果に明らかにつながるプロジェクトである場合には、地域別補助金担当職員、ロータリー財団専門家グループ(Cadre)または母子の健康を専門とするいずれかのロータリー行動グループのメンバーに、計画の早期段階で連絡し、プロジェクトの立案と補助金申請のための援助を求めてください。

予防接種プロジェクト

予防接種は、母子医療の重要な部分であり、伝染病の発生を予防・管理するにはワクチンが極めて重要です。しかし、世界の多くの人々は、ワクチンへの十分なアクセスがありません。一部の国では、進捗が停滞または後退しており、油断すればこれまでの進展が台無しになる恐れがあります。

注射によるワクチン接種は医療行為であるため、会員は、活動する国の適切な資格と免許がない限り、人にワクチンを接種することはできません。会員は、通常ボランティアが提供する補助的な医療活動にのみ従事できます。

プロジェクトが補助金の受領資格を満たすには、以下を提供する必要があります：

- 地域社会の調査: 地域、州、および国の利用可能なデータを使用して、地域社会における予防接種率とワクチンで予防可能な疾病の発生率と罹患率に関する情報を収集する。地元保健当局と協議して既存の予防接種スケジュールを入手し、予防接種における不足を調べる。これらの不足は、インフラストラクチャー、国のプログラム、利用可能なワクチンの種類と数、配布、認識と教育、従事可能なワーカーの不足が原因となっている可能性がある。地域社会の特定のニーズを満たすプロジェクトを立案するために、国の医療当局担当者、医療施設の管理者、医師、看護師、コミュニティ・ヘルスワーカー、助産師、地域社会の人びと、および現地の当局担当者と話す。
- 未成年者への医療サービスの提供にかかわるあらゆる問題について、現地の医療システムが完全な責任を負うことを示す文書。
- ロータリー会員が直接ワクチンを所持するべきではないため、実施パートナーにワクチンが直接届けられることの確認。
- (冷蔵庫といったコールドチェーンのネットワークなど) 質の高い予防接種のインフラ、および追加供給分を保管するスペースが協力団体、病院、保健センター、または大学病院内に備わっていることの証明。
- 予防接種では地域社会の知識と信頼が必要とされるため、プロジェクトに伴う教育キャンペーン。
- 新しいワクチンの導入に先立ち、その使用が認められていることを確認するために、国の保健当局担当者からのサポートを示した正式な確約書。および、継続的な予防接種プログラムのための財務面、運営面での責任者を明記した計画。
- 医療従事者、コミュニティ・ヘルスワーカー、プロジェクト受益者のための研修計画(地域社会調査によって特定されたトピックについて)。
- 地域社会の母子が現在受けている予防接種サービスと、プロジェクト完了後に受けることのできる予防接種サービスとの比較。
- 対象者の一部にサービス、機器、治療を提供するプロジェクトである場合、どのような基準で適格性を判断し、どのように対象者を選ぶのかを含めた受益者のニーズ調査。
- 持続可能とするための計画: プロジェクトの提唱者は、補助金提供の終了後にプロジェクトをどのように継続していくかを示すために、利害関係者とともにこの計画を作成すべきである。可能であれば、プロジェクトを維持していく施設からの書面による同意を含める。プロジェクトでは、財団補助金であれ、クラブの資金であれ、継続的な運営費をロータリーに依存することはできない。
- モニタリングと評価の計画: これは、プロジェクトの進捗確認と成果測定を行い、プロジェクトから学ぶための具体的な計画とする。期待する成果はプロジェクトの期間内で現実的なものである必要があり、成果の主な指標はプロジェクトの実施と評価の方法を示すものであるべきである。

移動医療車と移動診療所

基本的な医療サービスを利用できるのは世界人口の半数以下です。新型コロナウイルスの流行、自然災害、紛争などの大規模な混乱は、医療従事者、医療施設、その他のサービスへのアクセスを低下させ、母子の健康における数十年の改善を覆す可能性があります。医療サービスを提供する移動診療所または医療設備を備えた車両により、こうした障壁のいくつかに取り組むことができます。

これらのプロジェクトの目的は、母子医療を遠隔地に拡大することであり、通常診療用の移送システムとして救急サービスを提供することではありません。補助金の受領資格を満たすには、車両は下記に該当する必要があります：

- 地域社会および固定医療センター以外の診療場所において特定の母子医療サービスを提供するための医療設備を内蔵している。
- 医療サービス提供者、および地域社会と診療場所においてこれらの医療サービス提供者が特定の医療サービスを提供するために必要な現場医療設備と医療物資。

プロジェクトが補助金の受領資格を満たすには、以下を提供する必要があります：

- 地域社会の調査：地域社会の特定のニーズを満たすプロジェクトを立案するために、国の医療当局担当者、医療施設の管理者、医師、看護師、コミュニティ・ヘルスワーカー、助産師、その他の経験豊かな助産師、地域社会の人びと、および現地の当局担当者と話す。
- 母子の現在の医療へのアクセスと、プロジェクト完了後のアクセスとの比較。これには、サービスの種類、サービスのスケジュール、サービスの地理的分布、移動診療所の直接的な恩恵を受ける母子の数を含めるべきである。
- 地域社会にサービスを提供するのに十分な人数のフルタイムのスタッフがいることの証明。
- 医療従事者、コミュニティ・ヘルスワーカー、プロジェクト受益者のための研修計画。研修のトピックは、地域社会調査によって特定された問題から選ぶべきである。
- 検診を専用とする移動医療車が提供する治療および治療のための医療機関への紹介に関する説明。
- 持続可能とするための計画：プロジェクトの提唱者は、補助金提供の終了後にプロジェクトをどのように継続していくかを示すために、利害関係者とともにこの計画を作成するべきである。可能であれば、プロジェクトを維持していく施設からの書面による同意を含める。プロジェクトでは、財団補助金であれ、クラブの資金であれ、継続的な運営費をロータリーに依存することはできない。
- モニタリングと評価の計画：これは、プロジェクトの進捗確認と成果測定を行い、プロジェクトから学ぶための具体的な計画とする。期待する成果はプロジェクトの期間内で現実的なものである必要があり、成果の主な指標はプロジェクトの実施と評価の方法を示すものであるべきである。

緊急サービスのサポート

移動医療車または移動診療所とは異なり、この種類のプロジェクトでは、地域社会が緊急医療サービスを提供できるようにするための車両、人員、設備を提供します（出産する女性または生殖に関する健康の緊急事態にある女性の搬送を目的とする場合）。救急車は、緊急治療を提供できる医療施設と連携しており、現地で購入した新車である必要があります。

プロジェクトが補助金の受領資格を満たすには、以下を提供する必要があります：

- 地域社会の調査：地域社会の特定のニーズを満たすプロジェクトを立案するために、国の医療当局担当者、医療施設の管理者、医師、看護師、コミュニティ・ヘルスワーカー、助産師、その他の経験豊かな

助産師、地域社会の人びと、および現地の当局担当者と話す。

- 救急車の所有者、運用、メンテナンス、修理、セキュリティシステムについて記載した適切な医療施設からの文書。
- 救急医療提供者として機能する人員がいることを証明する文書。
- 救急サービス提供者、救急救命士、救急医療技師、その他のケア提供者への研修計画。
- 搬送を必要とする母子が現在受けているサポートと、プロジェクト完了後に受けることのできるサポートとの比較。これには、現在緊急サービスが行き届いている地域の情報、および母子の健康のためのこれらのサービスの使用状況ならびにプロジェクトがサービスの不足にどのように対処するかを説明するためのその他の基準データ。
- 持続可能とするための計画：プロジェクトの提唱者は、補助金提供の終了後にプロジェクトをどのように継続していくかを示すために、利害関係者とともにこの計画を作成するべきである。可能であれば、プロジェクトを維持していく施設からの書面による同意を含める。プロジェクトでは、財団補助金であれ、クラブの資金であれ、継続的な運営費をロータリーに依存することはできない。
- モニタリングと評価の計画：これは、プロジェクトの進捗確認と成果測定を行い、プロジェクトから学ぶための具体的な計画とする。期待する成果はプロジェクトの期間内で現実的なものである必要があり、成果の主な指標はプロジェクトの実施と評価の方法を示すものであるべきである。

医療設備プロジェクト

発展途上国の多くの病院では、母子の診断、モニタリング、治療、リハビリに必要な医療設備が不足しています。これは、発展途上国における最前線の医療従事者から報告されている主な課題の一つです。母子の健康のための設備プロジェクトは、健康的な妊娠と出産または新生児医療に関する女性のための教育活動を含めるか、地域社会調査によって特定されたその他の関連トピックに関する研修を含める必要があります。

これらのプロジェクトでは、誰が医療設備を使用するか、そのためにどのようなスキルが必要か、どのような研修とサポートが必要か考慮に入れるべきです。これらのプロジェクトではまた、誰が設備のメンテナンスを行うか、そのためにどのようなスキルが必要か、設備の維持のためにどのような研修とリソース（道具や検査機器など）が必要かも考慮する必要があります。寄贈が行われる場合、双方の文化的違いと期待を念頭に置いてください。

プロジェクトが補助金の受領資格を満たすには、以下を提供する必要があります：

- 地域社会の調査：地域、州、および国の利用可能なデータを使用して、地域社会における母子に特化した設備のニーズに関する情報を収集する。地域社会の特定のニーズを満たすプロジェクトを立案するために、国の医療当局担当者、医療施設の管理者、医師、看護師、コミュニティ・ヘルスワーカー、助産師、その他の経験豊かな助産師、地域社会の人びと、および現地の当局担当者と話す。
- 設備が母子の特定の健康状態やニーズにどのように対処するかに関する説明。
- 設備が、医療施設で現在提供されているレベルのサービスに適切なものであることを示す文書。施設内の現在の臨床業務にそのまま使用できるかどうか、または大幅な変更を必要とするどうかを説明する。

- 設備の使用者とメンテナンス担当者、その人たちのスキル、提供予定の研修に関する説明。病院の内外を問わず、メンテナンスを提供するための現地の技術的専門知識、および設備の継続的な使用とメンテナンスのための資金調達方法について説明する。
- 設備の現地の電源との互換性、その他のインフラの条件(換気や水の使用など)を満たしているかどうかの説明。チューブ、接着剤、シーラントなどの予備部品・資材を現地で入手できるかどうか、またどのように購入できるかを説明する。
- 所有権証明書および管理・維持の計画。これには、管理・維持提供者が必要な研修を受けたことを示す書類、または研修計画を示した書類を含める。研修が必要でない場合、設備を使用するためにスキルを有する管理・維持提供者がいることを文書で示す。
- 持続可能とするための計画:プロジェクトの提唱者は、補助金提供の終了後にプロジェクトをどのように継続していくかを示すために、利害関係者とともにこの計画を作成するべきである。可能であれば、プロジェクトを維持していく施設からの書面による同意を含める。プロジェクトでは、財団補助金であれ、クラブの資金であれ、継続的な運営費をロータリーに依存することはできない。
- モニタリングと評価の計画:これは、プロジェクトの進捗確認と成果測定を行い、プロジェクトから学ぶための具体的な計画とする。期待する成果はプロジェクトの期間内で現実的なものである必要があり、成果の主な指標はプロジェクトの実施と評価の方法を示すものであるべきである。

栄養プロジェクト

妊婦の栄養状態、および出産後に母親と乳幼児が摂取する栄養は、子どもの発達と成功に影響します。栄養プロジェクトは、栄養失調に対処し、栄養失調による母子の死亡または障がいの治療や軽減において成果が実証された介入を含む必要があります。

これらの介入は、高リスクの妊婦とその乳幼児に焦点を当てることができ、最適な母乳育児、年齢に適した量と質の補完的摂食、および母子が主要なビタミンとミネラル(ビタミンA、亜鉛、鉄分、葉酸、ヨウ素など)を十分に摂取できるようにするための介入を促進するものとするべきです。

ミルクバンクは、ミルクバンクのサービスの支援と拡大の手段となるため、栄養介入として補助金の対象となります。栄養失調に対処するための介入は、臨床的根拠に基づき、地域の保健当局により受け入れられている必要があります。農業、ガーデニング、または食品の提供や包装のみのプロジェクトは、補助金の対象とはなりません。

プロジェクトが補助金の受領資格を満たすには、以下を提供する必要があります:

- 地域社会の調査:地域、州、および国の利用可能なデータを使用して、出産年齢の女性、妊婦、新生児の栄養失調の罹患率と影響に関する情報を収集する。地域社会の特定のニーズを満たすプロジェクトを立案するために、国の医療当局担当者、医療施設の管理者、医師、看護師、コミュニティ・ヘルスワーカー、助産師、その他の経験豊かな助産師、地域社会の人びと、および現地の当局担当者と話す。
- 地域社会の母子が現在受けている栄養サポートと、プロジェクト完了後に受けることのできる栄養サポ

ートとの比較。

- または母乳の収集、配布、使用のためのシステムを開発した、または規制する協力団体や政府の保健当局との覚書。殺菌したサプライチェーンに関する文書を含める。
- 協力団体が、サポートが必要なサービスを提供した経験を有していることの証拠、および必要とされる可能性のある公認資格。
- 医療従事者、コミュニティ・ヘルスワーカー、プロジェクト受益者のための研修計画（該当する場合。地域社会調査によって特定されたトピックについて）。
- 対象者の一部にサービス、機器、治療を提供するプロジェクトである場合、どのような基準で適格性を判断し、どのように対象者を選ぶのかを含めた受益者のニーズ調査。
- 持続可能とするための計画：プロジェクトの提唱者は、補助金提供の終了後にプロジェクトをどのように継続していくかを示すために、利害関係者とともにこの計画を作成するべきである。可能であれば、プロジェクトを維持していく施設からの書面による同意を含める。プロジェクトでは、財団補助金であれ、クラブの資金であれ、継続的な運営費をロータリーに依存することはできない。
- モニタリングと評価の計画：これは、プロジェクトの進捗確認と成果測定を行い、プロジェクトから学ぶための具体的な計画とする。期待する成果はプロジェクトの期間内で現実的なものである必要があり、成果の主な指標はプロジェクトの実施と評価の方法を示すものであるべきである。

医療機器と救命手術

5歳未満の子どもの先天性疾患に対処するために必要な医療機器と救命外科手術は、補助金の対象となります。医療機器の主な目的は、疾病の治療およびさらなる罹患または死亡の予防である必要があります。美容目的で要請された医療機器は、補助金の対象とはなりません。

プロジェクトが補助金の受領資格を満たすには、以下を提供する必要があります：

- 地域社会の調査：地域、州、および国の利用可能なデータを使用して、地域社会における母子のための医療機器と手術のニーズに関する情報を収集する。地域社会の特定のニーズを満たすプロジェクトを立案するために、国の医療当局担当者、医療施設の管理者、医師、看護師、コミュニティ・ヘルスワーカー、助産師、その他の経験豊かな助産師、地域社会の人びと、および現地の当局担当者とは話す。
- 使用を予定している環境においてそれらの機器の使用が適切であること、また、機器を設置、埋め込み、操作する資格のある人員がいることを示す、国内の医療機関からの文書。必要な技術的基準を適用し、機器のサービス、メンテナンス、予備部品の提供、または交換のための計画を文書化する。
- プロジェクト受益者の調査（患者を優先し、フォローアップケアを確保する）。
- 必要に応じて、能力強化のための現地の医師と医療従事者の研修計画、およびフォローアップケアにおける家族と介護人のための研修。
- 対象者の一部にサービス、機器、治療を提供するプロジェクトである場合、どのような基準で適格性を判断し、どのように対象者を選ぶのかを含めた受益者のニーズ調査。
- 持続可能とするための計画：プロジェクトの提唱者は、補助金提供の終了後にプロジェクトをどのように

継続していくかを示すために、利害関係者とともこの計画を作成するべきある。可能であれば、プロジェクトを維持していく施設からの書面による同意を含める。プロジェクトでは、財団補助金であれ、クラブの資金であれ、継続的な運営費をロータリーに依存することはできない。

- モニタリングと評価の計画：これは、プロジェクトの進捗確認と成果測定を行い、プロジェクトから学ぶための具体的な計画とする。期待する成果はプロジェクトの期間内で現実的なものである必要があり、成果の主な指標はプロジェクトの実施と評価の方法を示すものであるべきである。

医療フェアと一般的な検診

医療フェアプロジェクトでは、特定の病気や感染の予防、検診、治療において、対象を絞った測定可能なサービスを提供する必要があります。例えば、妊娠糖尿病や高血圧の予防、HIVや性病の検査、妊婦と5歳未満の子どもに影響する不健全のその他の主な原因に焦点を当てることができます。5歳未満の子どもの視覚と聴覚の検査は、このカテゴリーにおける補助金の対象となります。医療フェアおよび検診・検査のための行事は、患者を初期診療システムに紹介し、継続的ケアへのアクセスを確保するものである必要があります。1度限りのサービスの提供を目標とすることはできません。

プロジェクトが補助金の受領資格を満たすには、以下を提供する必要があります：

- 地域社会の調査：地域、州、および国の利用可能なデータを使用して、医療フェアが扱う疾病の発生率と罹患率に関する情報を収集する。地域社会の特定のニーズを満たすプロジェクトを立案するために、国の医療当局担当者、医療施設の管理者、医師、看護師、コミュニティ・ヘルスワーカー、助産師、その他の経験豊かな助産師、地域社会の人びと、および現地の当局担当者と話す。
- 協力団体が、サポートが必要なサービスを提供した経験を有していることの証拠、および必要とされる可能性のある公認資格。
- 十分な物資と補助材料が入手可能である、またはプロジェクト予算に含まれていることを示す文書。
- 参加者が医療提供者に紹介され、その後の治療を受けることの証明。
- 持続可能とするための計画：プロジェクトの提唱者は、補助金提供の終了後にプロジェクトをどのように継続していくかを示すために、利害関係者とともこの計画を作成するべきある。可能であれば、プロジェクトを維持していく施設からの書面による同意を含める。プロジェクトでは、財団補助金であれ、クラブの資金であれ、継続的な運営費をロータリーに依存することはできない。
- モニタリングと評価の計画：これは、プロジェクトの進捗確認と成果測定を行い、プロジェクトから学ぶための具体的な計画とする。期待する成果はプロジェクトの期間内で現実的なものである必要があり、成果の主な指標はプロジェクトの実施と評価の方法を示すものであるべきである。

グローバル補助金の受領資格がない活動とプロジェクトのタイプ

ロータリー財団は、以下の活動を、重点分野「母子の健康」の範囲外にある活動とみなし、グローバル補助金の受領資格がないものとみなします。

- 教育的な支援プログラムを提供しない、または実施国の能力を大きく向上させる活動を提供しない医療任務／手術チーム（ただし、救命手術および先天的疾患に取り組む手術は例外とする）。

- 学校給食プログラム、栄養全般または栄養教育介入、および一般的なガーデニングと摂食プログラム。
- エコストーブまたは屋内調理台の設置プロジェクト。
- 測定可能な治療成果のない課外授業の資材、遊具、遊び場のみを購入するプロジェクト。
- 身体的・精神的障がいの治療するための代替治療または代替療法。
- 思春期の人を対象とする性と生殖の健康に関するプロジェクト(資格のある医療従事者による監督の下に、医療システムの範囲内で実施される場合を除く)。
- 調度品、供給品、消耗品の提供(受領資格を満たしているプロジェクトの一環として行う場合を除く)
- 可動性、社交的、教育的、または職業的な目的のために主に使用される車椅子。
- 美容目的で要請された医療機器。

「母子の健康」分野のプロジェクトをモニタリング・評価する方法

現地のニーズと能力に関する基準データを含む地域社会調査は、プロジェクトの測定と評価を行うための土台となります。明確で測定可能な目標を立て、データの収集方法を決めます。測定には、プロジェクト活動から直接恩恵を受ける受益者のみを含めます。少なくとも一つの標準測定基準を選び、そのための基準データがあるかどうか、基準データを使って結果をどのように比較するかを説明します。データ収集計画を説明し、および誰が情報を収集し、まとめるかを説明します。

財団が支援する母子の健康プロジェクトの全体的な目的は次のとおりです：

- 新生児、5歳未満の子ども、母親、および出産年齢の女性の罹患率と死亡率を削減する。
- より質の高い医療へのアクセスを改善する。

プロジェクトの実施方法と評価方法を示すために、上記の目的と特定のプロジェクト種類に基づいてデータを収集してください。以下の指標を含めてください：

- プロジェクトから直接恩恵を受ける受益者数
- 介入によって改善または好ましい成果があったと報告した参加者の割合
- 治療を受けた5歳未満の子どもの数
- 妊娠中のケアを受けた母親の数
- 研修を受けた、母子の健康に関する専門職従事者の数
- 母子の健康に関する専門職従事者のうち、研修で扱われた主題について知識が深まったと述べた人の割合
- 5歳未満の子どもの死亡率の減少を報告した地域社会の数
- 対象とした地域社会における5歳未満の子どもの死亡率
- 対象とした地域社会における5歳未満の子どもの死亡率の減少

- 5歳未満の子どもの罹患率の減少を報告した地域社会の数
- 対象とした地域社会における5歳未満の子どもの罹患率
- 対象とした地域社会における5歳未満の子どもの罹患率の減少
- 妊産婦の死亡率の減少を報告した地域社会の数
- 対象とした地域社会における妊産婦の死亡率
- 対象とした地域社会における妊産婦の死亡率の減少
- 妊産婦の罹患率の減少を報告した地域社会の数
- 恩恵を受けた医療施設の数
- 母子医療サービスの質の向上を報告した人または地域社会の数
- 母子医療サービスを前よりも多く利用できるようになったと述べた人の数

このデータの収集方法はさまざまであり、ロータリー会員、協力団体、または病院や医療システムなどのその他の利害関係者が収集を行うことができます。母子の健康プロジェクトの成果測定のためによく使われる手段：

- 補助金の記録または報告書
- 直接観察
- 公記録
- アンケート調査

実施がうまく行っているかどうか、変更を加える必要があるかどうか、プロジェクトを拡大または変更できるかどうかなどを理解するために、プロジェクトの評価を行うことが重要です。評価を作成する際には、協力団体やその他の利害関係者と協力してください。

母子の健康プロジェクトの評価は、プロジェクトの前と後の測定の変化に焦点を当てます。プロジェクトによっては、母子の健康での変化が実施期間を超えて拡大することがあります。その場合も、プロジェクトから学び、プロジェクトの持続可能性計画とインパクトを共有するために、フォローアップ、データの収集、評価を行うことが重要となります。

「母子の健康」分野の奨学生を支援する方法

グローバル補助金は、母子の健康の分野における仕事で活躍していくことに関心がある専門職業人のための大学院レベルの奨学金を支援します。グローバル補助金による奨学金の申請において、財団は以下の要素を考慮します：

- 母子の健康の分野における申請者のそれまでの職歴・活動歴。
- 母子の健康に沿った履修課程（例、医学、看護学、助産術）

- 申請者の将来のキャリア計画、およびそれが母子の健康にどのように関連しているか

母子の健康に関する医療従事者は、さまざまな種類の学位と幅広い経験を有しており、グローバル補助金奨学生も同じです。各奨学生は個別に審査されます。母子の健康の分野で働くことを計画している奨学生の典型的な学位には、以下が含まれます。

- 公衆衛生
- 医学
- 看護
- 助産術
- 公共保健教育
- 地域社会の保健
- 疫学
- 生物統計学
- 医療研究
- 医用生体工学
- 栄養
- 授乳関係

許容される可能性のあるその他の学位：

- プロジェクトマネジメント
- 非営利マネジメント

グローバル補助金奨学生の受領資格を財団が判断する際には、キャリア計画が重要な検討事項となります。可能な将来のキャリアには、コミュニティヘルスと病院、公衆衛生管理、保健政策立案、研究、または母子の保健サービスに焦点を当てた非政府組織での勤務などがあります。

リソース

補助金申請にあたって最も役立つリソースの一つに、[ロータリーの補助金担当職員](#)があります。補助金担当職員は、専門分野における知識に加え、効果的なプロジェクトに補助金を提供してきたロータリー財団の長年の経験を活かして、グローバル補助金プロジェクトが受領資格を満たすものとなるよう支援します。

ロータリーにはそのほかにも[プロジェクト立案の参考となるリソース](#)が数多くあり、成果をあげるプロジェクトを立案し、必要なサポートについての情報を見つけ、活動を推進し、インパクトを評価するうえで役立ちます。

また、母子の健康の分野のグローバル補助金を計画する際の参考資料として、以下もご活用ください。

- [グローバル補助金ガイド](#)
- [ロータリー財団 グローバル補助金 授与と受諾の条件](#)
- [重点分野の基本方針](#)
- [持続可能性に向けた6つのステップ](#)
- [グローバル補助金のモニタリングと評価の計画に関する補足資料](#)
- [グローバル補助金の流れ](#)